

平成25年4月16日

報道機関各位

国立大学法人電気通信大学

電通大100周年キャンパス整備に着手

電気通信大学（東京都調布市、梶谷誠学長）は15日、東京都調布市小島町1-1-1にある、同大学宿舎地区の大規模再開発事業について発表しました。同大学は、この地を100周年キャンパスと名付け、民間活力を利用して学生宿舎等多様な施設を整備します。総敷地面積は約1.1ha、7月には事業者募集要項が配布される予定です。



事業区域地図



梶谷誠学長

<お問い合わせ先>

施設課（熊谷）Tel:042 - 443 - 5051

電気通信大学100周年キャンパス整備・運営事業 事業者募集にあたって

本学では、「UECビジョン2018」の実現に向けた取組の一つとして、小島町地区を貴重な資源と位置づけ、本敷地の有効活用のため、良質かつ安全、安心な施設を整備し、長期安定した維持管理・運営等のサービスを安価な料金で学生等に提供するため、民間事業者が有する事業ノウハウおよび企画力を活用した本事業を推進する予定です。

1. 対象事業の概要

- (1) 事業名称 電気通信大学100周年キャンパス整備・運営事業
- (2) 事業内容 事業者は、施設の設計、建設、維持管理・運営およびその他関連業務を実施する。
- (3) 施設概要 1) 混住型学生宿舎(12~18㎡:400戸程度)、研究者宿泊施設(25~50㎡:10戸程度)、職員宿舎(25~50㎡:40戸程度)、福利厚生施設(500㎡程度)、共同研究施設(4,000㎡程度)等。^{*}
2) その他、地域・社会連携に資する交流機能についての提案を求めます。
^{*}施設規模および構成については、今後の検討により変更する場合があります。
- (4) 整備手法 原則として、大学から事業者へ土地を貸し付けるなど、民間活力を利用して事業を実施するものとし、事業者の自由な提案による方式(例:BOT, BTO等)を求めます。
- (5) 事業期間 施設整備期間に供用開始後30年を加えた期間。

2. 対象となる土地

所在地	調布市小島町1-1-1
敷地面積	約1.1ha
都市計画による制限等	用途地域:第1種中高層住居専用地域,第1種住居地域,準住居地域 建蔽率/容積率:60/200 その他:第2種高度地区(25m),準防火地域

3. スケジュール(予定)

内 容	日 程
事業者募集要項配布	2013年7月下旬
応募登録受付期限	2013年8月上旬
現地説明会	:
提案書の提出要請	:
提案書の提出期限	2013年9月下旬
事業者選定会(プレゼンテーション)	:
優先交渉権者の決定	2013年12月上旬
契約締結	2014年3月上旬

4. 本件に関する問い合わせ先

電気通信大学小島町地区再開発本部事務局 Tel : 042-443-5053・5963

5. 関係資料

- 資料1 小島町地区再開発基本方針
- 資料2 位置図
- 資料3 現況平面図
- 資料4 現況写真

【資料1】

小島町地区再開発基本方針

電気通信大学

I. 再開発の意義

小島町地区は、調布キャンパスの南側に甲州街道を挟んで位置し、本学に残された唯一のエクステンションとなっています。現在は、築40年を超える老朽化した職員宿舎等により構成されていますが、現状のままでは、施設の安全性の問題と共に利用率の低下が懸念され、資産活用上も大きな問題となりつつあります。

一部の大学では、すでに未活用土地等については売却・国庫返納が求められており、一方では、公務員宿舎の縮減の流れの中で、職員宿舎のみの建替え計画としては、現実的な選択肢となり得ない状況となっています。

このため本学では、約1.1haの小島町地区の在り方について、「調布宿舎地区整備検討ワーキンググループ」、「調布宿舎地区再開発検討委員会」と段階的に議論を進め、今年度「小島町地区再開発本部」を設置、各種検討を重ねた結果、この貴重な敷地に、本学の発展と地域・社会との連携・共生に資する施設を整備することにより、一層開かれた教育研究機関として「UECビジョン2018－100周年に向けた挑戦－」の実現に資する再開発整備を実施することとします。

II. 再開発の基本方針

「UECビジョン2018」の実現に向けた取組の一つとして、小島町地区を貴重な資源と位置づけ、この地に、教育研究機能と経営力の強化を目的とした、多様な施設を整備します。この再開発により、既存の調布キャンパスと一体化した、誰もが入りたくなる快適で美しいキャンパス環境を実現します。

【基本方針】

1. UEC Port および経営3戦略の具現化を目指します。^{※1}
2. 今後50年間の有効活用を目指します。
3. 2018年には、稼働状態を目指します。(100周年記念キャンパスとします。)

※1. UEC Port および経営3戦略の具現化について

UEC Port とは、「Unique & Exciting Campus の港」を意味し、本学に訪れる全ての人々にとっての玄関であると共に、本学が目指す、人と人、人と自然、人と社会、人と人工物が創り出す、豊かな総合コミュニケーション科学の発着点の場で有り続けるという思いを込めて命名されています。

また、このキャンパスを、本学の経営3戦略、(1)知のボーダレス化、(2)連携と協働、(3)開放性と透明性を具体的に実践・体験するための場として位置づけています。

位置図

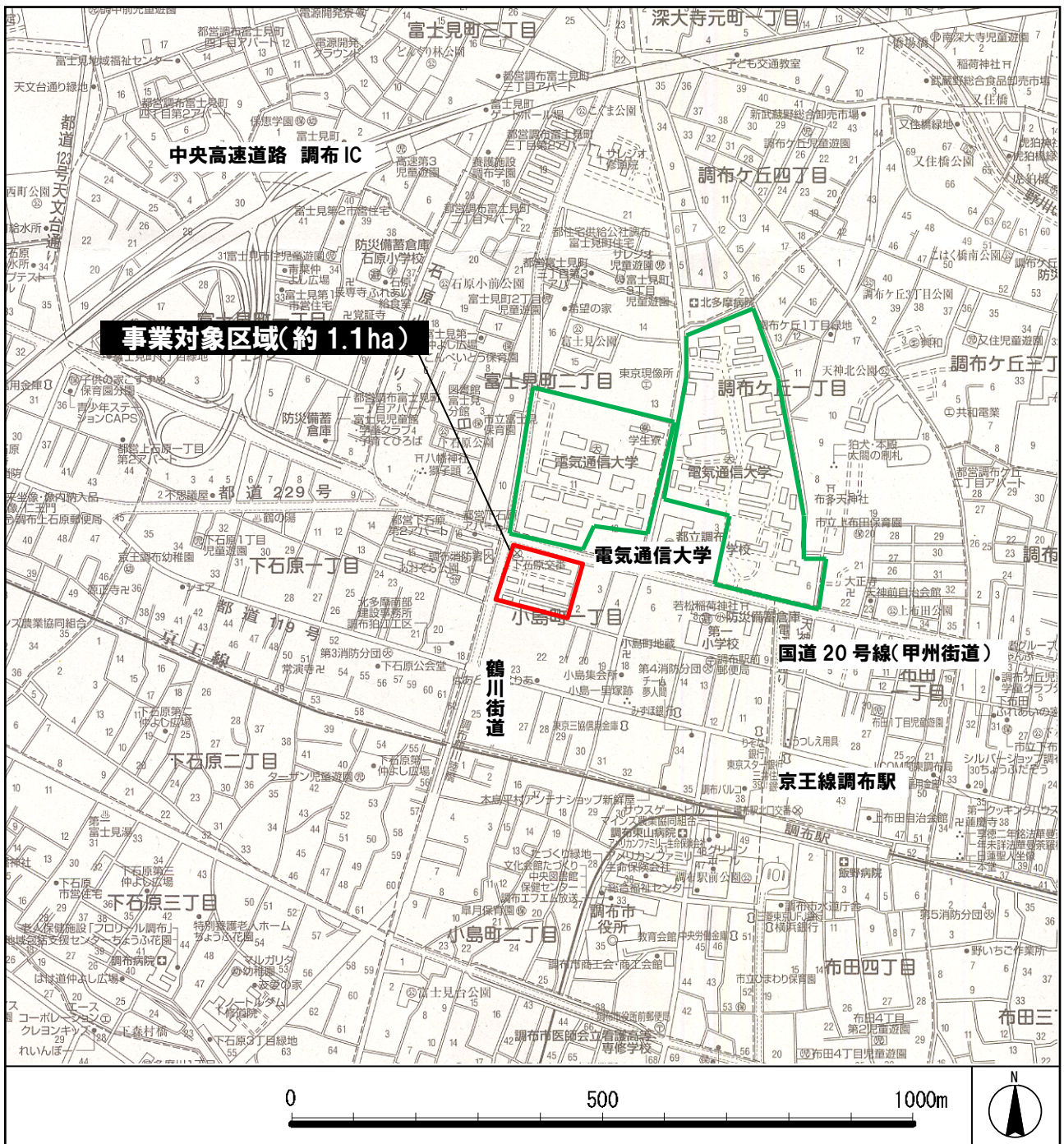
【資料2】

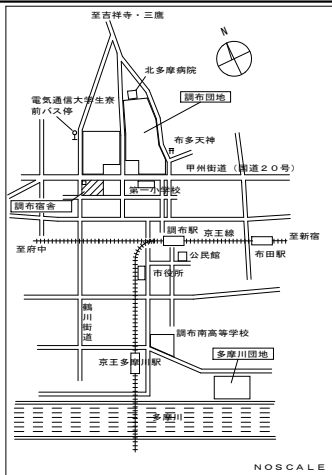


本事業予定地



電気通信大学調布キャンパス



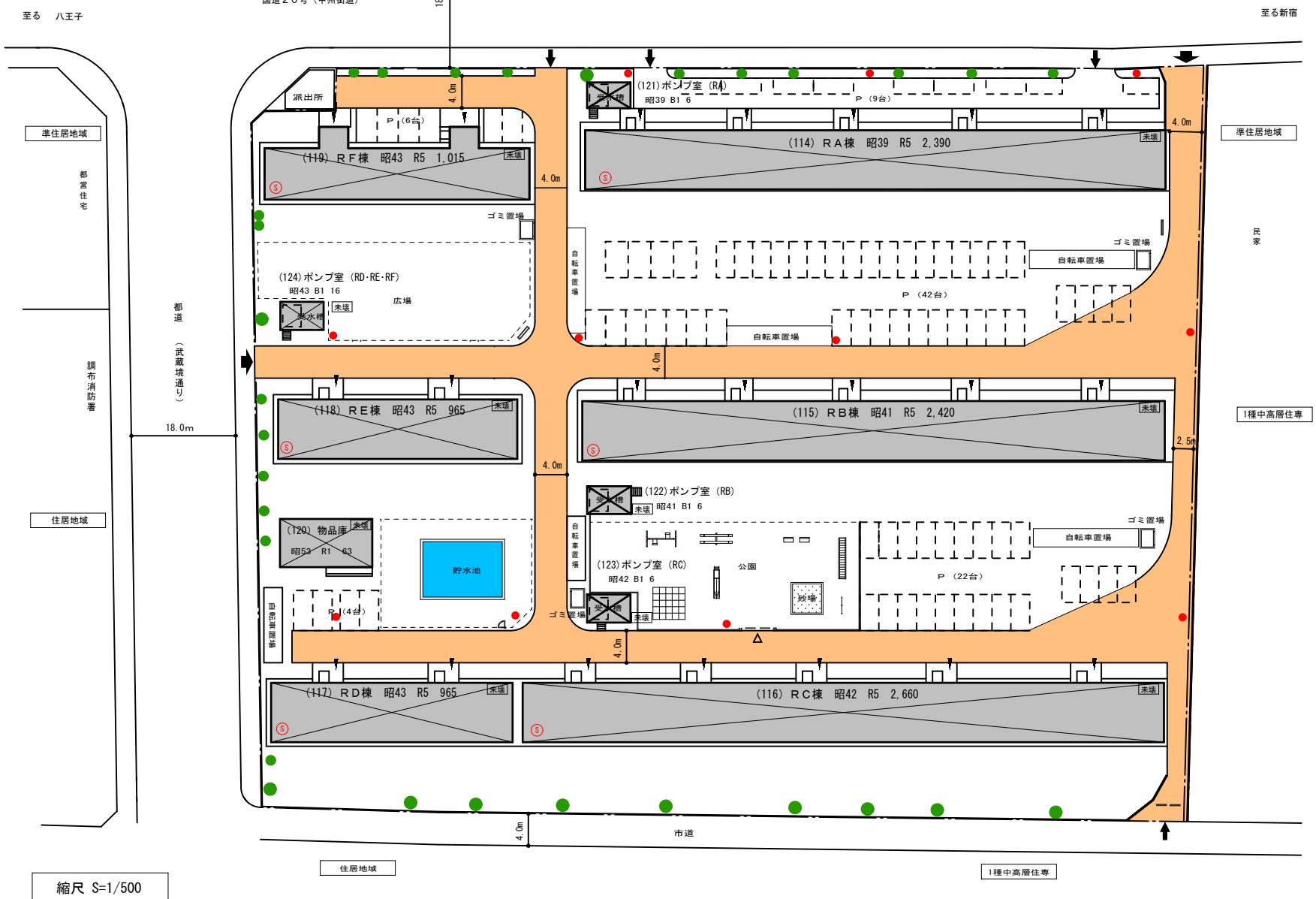
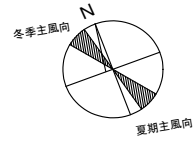


電気通信大学案内図

事項	摘要	凡例
現有建物	長期的な視点から、将来とも利用する建物	
"	長期的な視点から、上記以外の建物	
"	長期的な視点から、不適格、未とこわし建物	
道路	舗装道路	
"	その他の道路	
駐車場		P (83台)
囲障		
樹木		
池		
芝生		
外灯		
境界		
敷地入口		
建物入口		
健全度調査	耐震診断済	

団地の建築的諸条件

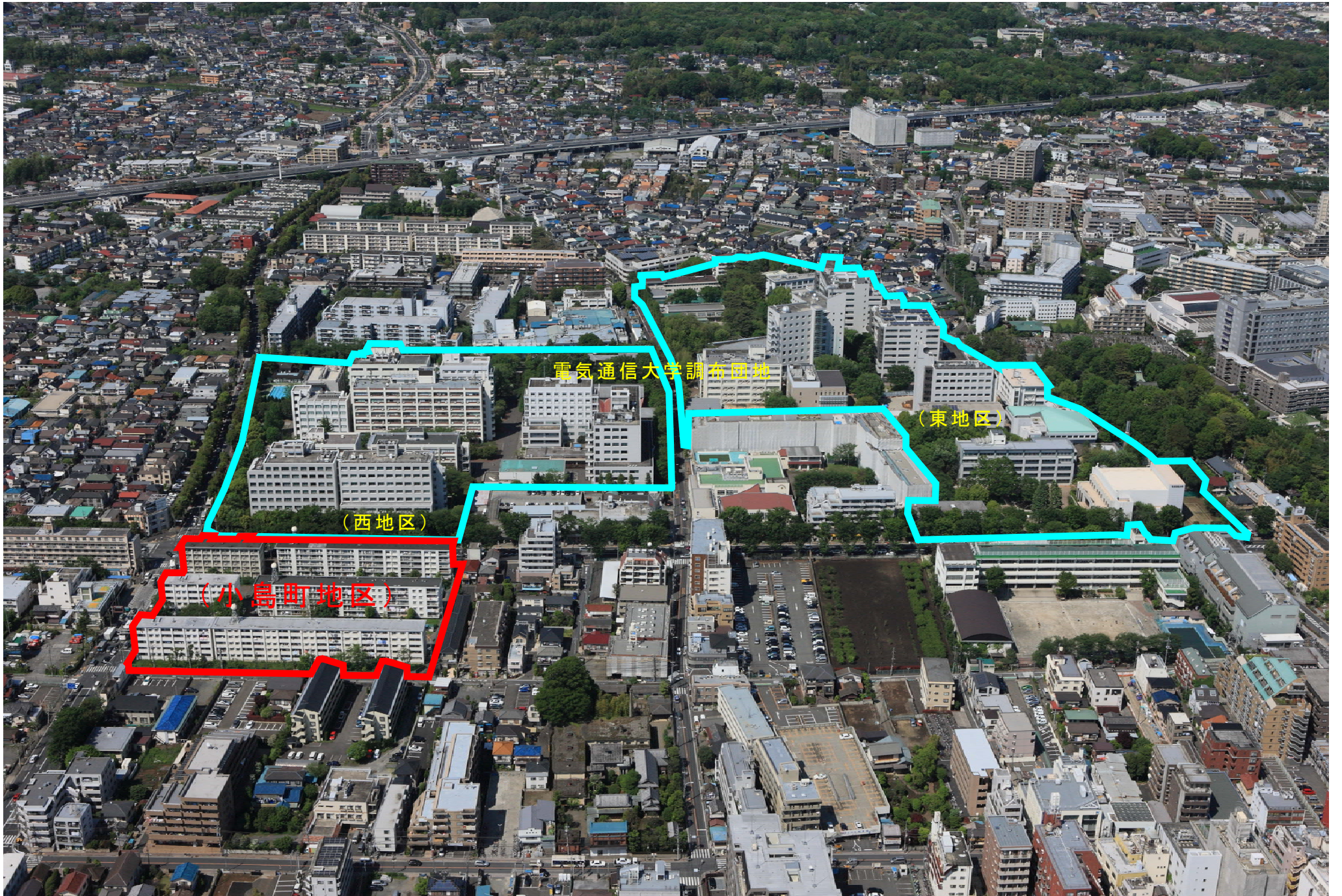
防火地域	準防火地域
用途地域	第1種中高層住居専用地域
地域、地区、街区	25m第2種高度地区
風圧力区域	100%
海岸からの距離	8km以上
積雪区域	一般区域
地盤	普通区域



縮尺 S=1/500

現況配置図

敷地面積	建築面積	建物延面積	建ぺい率	容積率	全学生数	学部等名	団地番号	団地名	所在地	学校番号	学校名	作成年度
10,976㎡	2,228㎡	10,512㎡	20%	96%	40人	職員宿舎 学生寄宿舍	005	調布宿舎	東京都調布市小島町1-1-1	0216	電気通信大学	H25年度



現況写真